平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名　日鍛バルブ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6493　URL　http://www.niv.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　久雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 金原　利道　TEL 0463-82-1311

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,292	3.9	631	0.4	821	19.7	373	2.6
25年3月期第1四半期	8,943	10.9	629	78.9	686	78.5	363	―

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　1,968百万円　(147.3%)　25年3月期第1四半期　796百万円　(51.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	12.92	―
25年3月期第1四半期	12.59	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	46,237	28,484	50.4
25年3月期	43,531	26,429	50.8

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　23,290百万円　25年3月期　22,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	6.00	―	4.00	10.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,100	11.1	750	△13.2	950	4.0	250	△41.6	8.65
通期	37,300	5.1	1,800	78.4	2,100	42.0	650	―	22.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) ニッタンベトナム CO., LTD. 、 除外 ―社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	28,978,860 株	25年3月期	28,978,860 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	91,032 株	25年3月期	90,942 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	28,887,828 株	25年3月期1Q	28,888,067 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・ P. 2
（１）経営成績に関する説明 ・・ P. 2
（２）財政状態に関する説明 ・・ P. 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ・・ P. 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4

３．四半期連結財務諸表 ・・ P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 ・・ P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 9
（継続企業の前提に関する注記）・・・ P. 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 9
（セグメント情報等）・・ P. 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１） 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における国内経済は、海外景気下振れリスクなどが懸念されるものの、企業収益や雇用情勢の改善など景気は着実に持ち直しており、先行きについても景気回復への期待感が高まっております。一方、世界経済は、全体としては回復傾向にあるものの、アジア地域における景気拡大の鈍化など減速感は拭えず、欧州地域における財政不安の影響も懸念されます。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内では、輸出の持ち直しなどを背景に回復傾向にありました。海外では、欧州市場は依然低迷しておりますが、新興市場における需要拡大や米国市場の回復などを背景に概ね堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針の達成に鋭意取り組むとともに、生産体制の合理化、海外事業展開の推進、新技術・新商品の開発など、諸施策を積極的に展開してまいりました。また、今後の市場のグローバル化と海外生産シフトの進展にともなう国内事業への影響を見据え、事業規模に見合った適正な人員体制の再構築と収益構造の改革を図るための施策を実施いたしました。

当第１四半期連結累計期間の業績としましては、国内事業では、前年度第３四半期以降の落ち込みから復調傾向にあったものの全般としては低調となりました。海外事業では、為替換算の円安効果に加え、自動車需要が回復傾向にある北米地域における生産拡大などにより堅調な推移となりました。この結果、売上高は、92 億 92 百万円（前年同期比 3.9%増）となりました。

損益面につきましては、北米における生産拡大対応によるコスト増加などにより海外事業は減益となったものの、国内事業は各種コスト低減施策や前年度に実施した固定資産減損処理の効果などにより増益となりました。この結果、営業利益６億 31 百万円（前年同期比 0.4%増）、経常利益８億 21 百万円（19.7%増）、四半期純利益３億 73 百万円（前年同期比 2.6%増）となりました。

なお、第１四半期連結会計期間より、ベトナムにおける小型エンジンバルブ製造の子会社であるニッタンベトナム Co., Ltd.を新たに連結しております。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

＜小型エンジンバルブ＞

国内事業では、四輪車用エンジンバルブは、前年度第３四半期以降の落ち込みから復調傾向にあったものの、海外向け製品の低調により減収となりました。二輪車用エンジンバルブは中大型車用製品の低調および一部製品の海外生産移管により減収となりました。海外事業においては、アジア地域では、四輪車用製品の新規立ち上がりや為替換算の円安効果により増収となりました。北米地域では、為替換算の円安効果に加え市場の回復にともなう生産拡大により大幅な増収となりました。

汎用エンジンバルブにつきましては、海外向け製品の増加により増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、アジア・北米地域では減益となったものの、国内事業の増益がこれを補い、前年同期に比べ増益となりました。

なお、第１四半期連結会計期間より、ベトナムにおける二輪車用エンジンバルブ製造の子会社であるニッタンベトナム Co., Ltd.を新たに連結しております。

この結果、当セグメントの売上高は、71 億 33 百万円（前年同期比 12.1%増）、セグメント利益（営業利益）は、５億 26 百万円（前年同期比 3.5%増）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

＜舶用部品＞
舶用関連製品につきましては、震災復興需要の減少や市場の低調による補給部品・大型機種の減少により減収となりました。
この結果、当セグメントの売上高は、7億29百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益（営業利益）は、82百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

＜可変動弁・歯車＞
可変動弁につきましては、モデル切り替えによる受注減少により大幅な減収となりました。
精密鍛造歯車につきましては、自動車用製品は中国向け製品の増加などにより増収となりました。産業機械用製品は減収となりました。
この結果、当セグメントの売上高は、10億41百万円（前年同期比23.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、前期に実施した固定資産減損処理の効果もあり、64百万円（前年同期比137.8%増）となりました。

＜その他＞
バルブリフターにつきましては、一部海外向け製品が増加したものの、主力製品の減少および一部製品の生産終了などにより減収となりました。
工作機械につきましては、海外事業での新規立ち上がりなどにより増加しております。
この結果、当セグメントの売上高は、9億78百万円（前年同期比58.3%増）、セグメント利益（営業利益）は、41百万円（前年同期比142.9%増）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、462億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して27億5百万円の増加となりました。
資産の部の流動資産は、172億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億16百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が8億23百万円増加したことなどによるものであります。
固定資産は、289億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億89百万円の増加となりました。この主な要因は機械装置及び運搬具（純額）が8億91百万円増加したことなどによるものであります。
負債の部の流動負債は、109億87百万円となり、前連結会計年度末と比較して86百万円の減少となりました。この主な要因は短期借入金が7億70百万円増加しましたが、早期退職費用引当金が7億51百万円減少したことなどによるものであります。
固定負債は、67億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億37百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が8億43百万円増加したことなどによるものであります。
純資産の部では、284億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億54百万円の増加となりました。この主な要因は少数株主持分が8億82百万円、為替換算調整勘定が5億98百万円増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想は、平成25年5月14日公表の「平成25年３月期決算短信」より変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
第1四半期連結会計期間より、ニッタンベトナム CO.,LTD. は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○法人税等の計算
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,213,814	4,037,011
受取手形及び売掛金	6,120,140	6,323,770
商品及び製品	2,284,335	2,301,413
仕掛品	1,117,560	1,143,909
原材料及び貯蔵品	1,989,785	2,089,739
繰延税金資産	203,866	219,104
その他	1,206,572	1,137,705
流動資産合計	16,136,074	17,252,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,056,629	5,345,425
機械装置及び運搬具（純額）	7,826,111	8,717,889
土地	1,313,159	1,332,253
建設仮勘定	2,144,667	2,450,343
その他（純額）	481,205	476,200
有形固定資産合計	16,821,774	18,322,112
無形固定資産		
のれん	293,272	210,092
その他	480,219	621,335
無形固定資産合計	773,491	831,428
投資その他の資産		
投資有価証券	8,706,785	9,298,446
出資金	600,148	940
長期貸付金	61,118	58,630
繰延税金資産	269,389	311,388
その他	166,576	165,934
貸倒引当金	△4,277	△4,467
投資その他の資産合計	9,799,741	9,830,873
固定資産合計	27,395,007	28,984,414
資産合計	43,531,081	46,237,070

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,258,619	3,846,749
短期借入金	2,415,260	3,185,352
未払法人税等	234,590	195,284
繰延税金負債	583,519	672,780
賞与引当金	320,711	69,869
早期退職費用引当金	751,704	－
その他	2,509,689	3,017,729
流動負債合計	11,074,092	10,987,766
固定負債		
長期未払金	148,858	11,100
長期借入金	1,506,880	2,350,040
繰延税金負債	1,510,127	1,667,558
退職給付引当金	2,585,507	2,487,798
その他	276,359	248,775
固定負債合計	6,027,733	6,765,272
負債合計	17,101,826	17,753,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,941	4,506,941
利益剰余金	11,483,976	11,721,313
自己株式	△45,344	△45,375
株主資本合計	20,476,116	20,713,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,085,785	3,422,034
為替換算調整勘定	△1,443,353	△844,692
その他の包括利益累計額合計	1,642,431	2,577,342
少数株主持分	4,310,707	5,193,268
純資産合計	26,429,255	28,484,032
負債純資産合計	43,531,081	46,237,070

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	8,943,907	9,292,731
売上原価	7,538,336	7,806,754
売上総利益	1,405,570	1,485,977
販売費及び一般管理費	776,569	854,594
営業利益	629,001	631,383
営業外収益		
受取利息	5,999	4,900
受取配当金	43,608	53,099
持分法による投資利益	26,773	38,551
為替差益	－	109,664
雑収入	35,317	12,009
営業外収益合計	111,700	218,224
営業外費用		
支払利息	9,296	22,631
為替差損	38,464	－
雑損失	6,893	5,737
営業外費用合計	54,654	28,368
経常利益	686,046	821,239
特別利益		
固定資産売却益	22,448	464
特別利益合計	22,448	464
特別損失		
固定資産売却損	－	47
固定資産除却損	5,608	6,685
ゴルフ会員権評価損	2,987	－
特別損失合計	8,596	6,733
税金等調整前四半期純利益	699,898	814,970
法人税等	132,646	246,869
少数株主損益調整前四半期純利益	567,252	568,101
少数株主利益	203,411	194,953
四半期純利益	363,841	373,147

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	567,252	568,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△474,189	336,268
為替換算調整勘定	619,762	1,006,513
持分法適用会社に対する持分相当額	83,264	57,635
その他の包括利益合計	228,837	1,400,417
四半期包括利益	796,090	1,968,518
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	327,633	1,308,057
少数株主に係る四半期包括利益	468,457	660,461

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第１四半期連結累計期間（自　平成 25 年４月１日　至　平成 25 年６月 30 日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期連結累計期間（自　平成 25 年４月１日　至　平成 25 年６月 30 日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成 24 年４月１日　至　平成 24 年６月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	小型エンジンバルブ	舶用部品	可変動弁・歯　車	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	6,363,298	806,777	1,364,898	8,534,973	408,933	8,943,907	－	8,943,907
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	209,114	209,114	△209,114	－
計	6,363,298	806,777	1,364,898	8,534,973	618,047	9,153,021	△209,114	8,943,907
セグメント利益	508,666	90,739	27,099	626,506	17,105	643,611	△14,610	629,001

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△14,610 千円は、セグメント間取引消去 41,583 千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△56,194 千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成 25 年４月１日　至　平成 25 年６月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	小型エンジンバルブ	舶用部品	可変動弁・歯　車	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	7,133,015	729,623	1,041,765	8,904,404	388,327	9,292,731	－	9,292,731
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	57	－	－	57	590,051	590,108	△590,108	－
計	7,133,072	729,623	1,041,765	8,904,461	978,378	9,882,840	△590,108	9,292,731
セグメント利益	526,604	82,602	64,431	673,637	41,545	715,182	△83,799	631,383

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△83,799 千円は、セグメント間取引消去△22,636 千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△61,163 千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。